

(問い合わせ先)
令和6年3月11日
広島県農林水産局
担当者：向井
内線：3502
電話：082-513-3502

県内における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例の発生について

令和6年3月11日
畜産課

3月11日、北広島町の採卵鶏農場において、家畜伝染病である「高病原性鳥インフルエンザ」が疑われる事例が発生しました。

なお、現段階は、高病原性鳥インフルエンザが疑われる状態であり、今後、詳細な遺伝子検査を実施し、家畜伝染病予防法上の高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜であるかどうかを確認します。

また、危機対策本部員会議の開催等については、改めて、情報提供します。

1 農場の概要

- (1) 農場所在地：広島県山県郡北広島町
- (2) 飼養状況：採卵鶏飼養農場（規模 約8万羽）

2 経緯

- (1) 3月11日（月）、当該農場において、死亡鶏が増加した旨、西部畜産事務所が通報を受けました。
- (2) 同日、西部畜産事務所が立入検査を行い、鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、13羽中9羽（死亡鶏11羽中9羽、生存鶏2羽中0羽）の陽性を確認しました。
- (3) 同日、当該農場から西部畜産事務所へ検体を搬入し、遺伝子検査（PCR検査）を実施します。
- (4) 判明した結果を農林水産省に送付することとしており、3月12日（火）には、疑似患畜であるかどうかを判定する予定です。
- (5) 当該農場は、通報があった時点から飼養家さん等の移動を自粛しています。
- (6) 3月12日（火）7時30分から広島県危機管理対策本部員会議を開催する予定です。
- (7) 3月12日（火）8時から武村農林水産副大臣と知事の面談（オンライン）を予定しています。

※時間については変更する場合があります。

3 その他

- (1) 我が国ではこれまで家きん肉、家きん卵を食べることにより、人に感染した例は報告されていません。
- (2) 現場での取材は、陽性であった場合に本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は、防疫作業を行う場合に妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- (3) 今後とも、本件に関する情報提供に努めてまいりますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないよう、御協力をお願いします。